

守山市水道ビジョン策定懇話会 第1回会議開催結果

- 1 日 時 令和3年5月12日（水） 午後2時から午後4時まで
- 2 場 所 守山市役所3階31会議室
- 3 出席者 〔委 員〕 山田淳会長、西谷順平委員、伊藤五作委員、三品きぬ江委員、
北脇すみよ委員、森田重吾委員、山田剛資委員
〔事務局〕 市職員：飯島上下水道事業所長、上畠同所次長、
松浦施設工務課工務係長、小野同課管理係長、
中井経営総務課経営係長、久光同課主任
- 4 内 容 (1) 開会
(2) 所長挨拶
(3) 委員委嘱、委員紹介
(4) 会長選出、会長職務代理者指名
(5) 協議事項
① 今後のスケジュールと検討事項について
② 水道事業の現状と現在の水道ビジョンについて
③ 現状評価について
④ 課題および方針整理について
⑤ 新水道ビジョンの骨子案について
- 5 会議概要
(1) 今後のスケジュールと検討事項
懇話会は全4回を開催予定の旨を説明。
(2) 水道事業の現状と現在の水道ビジョンについて
本市の水道事業の沿革および策定に至った経緯を説明。
【主な質問】
Q. 自己水源の水質について、最近何か問題は出ていないか。
A. ここ数年水質検査等では何も異常はなく、特に問題はございません。
Q. 緊急事態に対応できるよういくら現金を保有しておくというような方針はあるのか。
A. 今のところ毎年黒字化して積み立てているが、基準となる金額は特にない。

【意見】

水道施設が老朽化し更新していく必要がある一方で、将来的に人口減少や料金収入の減少が見込まれている。健全な事業として財政的に余裕があればよいですが、新型コロナウイルスに係る支援策として水道料金を一部減免されたことはいかがなものか。

(3) 現状評価について

現水道ビジョンで掲げた主要施策ごとに示した26の具体的施策の達成状況について説明。

【主な質問】

Q. 水道料金について、守山市は県内で下から3番目くらいの安い何か理由はあるのか。

A. 守山市にはきれいな地下水が出ており、他市町より大きな浄化施設をもつ必要がない。また平地であるため、県営水道が市内へ配水する水圧を使っているあたりで費用が抑えられている。

(4) 課題および方針整理について

SWOT分析により課題と方針を整理するため、本市の強みや弱みなどを分類し、現在の事業課題について説明。

【主な質問】

Q. SWOT分析とはどれくらいポピュラーなものか。

A. 一般企業や他の水道事業者の水道ビジョンでも利用されている手法。

【主な意見】

①資料には利益最大化とあるが、水道事業は利益最大化のためにやっているわけではないので誤解を招くのでは。利益最大化ではなく、安心、安全、持続など言葉を変えたほうがよい。

②クロス分析結果が読み方によれば結果が先にありきのよう感じられてしまう。

(5) 新水道ビジョンの骨子案について

現水道ビジョンの基本目標である「安心」、「安定・持続」、「環境・国際」の4つの主要な施策を分析。そのうえ国および県の水道ビジョンを踏まえて、本市の新しい水道ビジョンを作成していく。

【主な意見】

① 経営基盤の強化という点において、骨子の中で適切な料金設定を検討することも必要では。

② 基本的に各市町が抱えている課題は共通している。SWOT分析により他の市町

のビジョンと比較し、守山市としての特徴がわかるとよい。